

第281回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成23年9月26日（月）午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟放送網本社会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員5人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
吉原 浩	委員	碓井 真史	委員
大久保 千春	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	前川 磐
専務取締役（報道・制作・国際担当）	奥野富士郎
専務取締役（営業・事業・編成担当）	永原 良太
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	駒形 正明
報道制作局長 兼 報道部長	稲田 裕之
編成部長	中川 保彦
制作部長	小木 裕介
合評番組プロデューサー	斎藤 将彦
事務局	海津 智洋
	紫竹 聡子

4 議 題

1) 番組合評

「夕方ワイド新潟一番 『山人 笹ヶ峰夢見平』」

〔放送：8月15日（月）16：10～16：20〕

〔放送：8月22日（月）16：10～16：20〕

（説明：番組プロデューサー 斎藤 将彦）

2) 会社報告

①BPO 放送倫理検証委員会決定（9月22日）

「東海テレビ放送『ぴーかんテレビ』問題に関する提言」

（報告：編成局長・番組審議会事務局長 駒形 正明）

②7月、8月の視聴者の意見。 （報告：番組審議会事務局）

③講じた措置、公表など定例の報告等。（報告：番組審議会事務局）

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、この番組は「夕方ワイド新潟一番」の毎週月曜日の16時台で3年前から放送している「山人（やまんちゅ）」というコーナーであること。昨年から作家でありイラストレーターでもある遠藤ケイさんを起用し、新潟県内や近県の山々と自然の魅力をお伝えしていること。単に山に登って下りてくるだけの内容や景観の素晴らしさだけにとどまらないように、山に登っている人達との出会いや一緒に行くナビゲータとの会話などから自然や山行の味わいを出していきたいという思いで番組を制作したものであることなどを報告した。

●山に登れば里山でもどこでも笹ヶ峰と同じように感動はあると思う。山や自然の感動がこの笹ヶ峰ではどのようなのがもっと知りたかったが、「自然ソムリエと歩くと心も体もリフレッシュ！」というセリフが気になり、自然ソムリエの存在の方に注意が行ってしまった気がする。

●誰でも自然ソムリエに案内してもらえないわけではないと思うが、そのあたりの説明が欲しかった。

●セラピーロードや森林浴も良いが、広々とした笹ヶ峰の高原らしい素敵な映像も欲しかった。

●山での人との出会いについて、もう少し現場での聞き方に工夫が欲しかった。例えば大阪から来た人達にはどうして大阪から笹ヶ峰に来ることになったのか、そして来てみてどうだったかなどを聞いて欲しかった。

●女性登山者へのコメントで「年季の入った山ガール」や「大阪のおばちゃん」「一人で来たお母さん」と3回あり、中年の女性登山客について特別にカテゴライズするような扱いはあまり好ましくないと思った。

●ローカルテレビ局で紹介するというのはとても意味と責任のあることだと思う。活字やインターネットは情報を自ら選んで引き出しに行くものだが、テレビは選んでも見ようともしていないのに山歩きや自然の素晴らしさがなんとなく目に入ってきて今まで無縁だと思っていた自然との関わりが身近な存在に感じたり、知らなかった情報が伝わってきたりするものだった。

●おじさん二人で歩いて行くという構成も地味だけど良いと思

った。スタジオトークも無理やり盛り上げることもなく、これはこれで良いと思った。

●現地での景色について春はこうでした。夏はこうですと紹介されていたので、これから迎える秋はこうなりますというのもあったら良かったと思った。

●「山人」の案内人に起用した遠藤さんは三条市出身。千葉県でログハウス暮らしをしていた自然派の作家でイラストレーター。新潟に戻って自然の中で暮らしている彼を番組に起用できたのは成功だと思った。

●「山をフルコースで味わう」という言葉も遠藤さんらしいコメントだと思った。

●上越市から来た女性達の表情や言葉も効果的で、植物の名前を書いたメモ帳を見せてもらいながら植物を見るために「上を見ないで下ばかり見てる」という彼女たちの言葉も自分たちで楽しんでいる様子が伝わってきて良かった。

●つま楊枝に使われるクロモジとか、お椀やお盆になるトチノキなど蒔蓄も盛り込まれていた。遊歩道がかつてブナの切り出し用に使われていたというトロッコ用軌道跡だったなどの紹介も興味深かった。

●放映時間がお盆近かったので、もう少し早めに放送されていれば行ってみたいと思う人達も増えたのではないかと思った。

●森林浴やアロマセラピーと言われるが、自然のままの状態で遊歩道を作ってあり、自然を大事にしているなあと思った。

●上越の女性達が手帳を持って植物の名前を覚えながら山を巡るという姿はとても好感のもてるもので、見た人で自分も同じように行きたくなる人も増えるのではないかと思った。

●番組コーナーの最後で遠藤さんが描いた花や植物のイラストで蘊蓄を語る構成になっていて、コーナーの締めくくりとしてはとても良いと思った。

●ひとりや数人で山に登る時は実は静かなものだが、この番組は解説があまりなく静かに登り歩いて見ている人が遠藤さんと一緒に登っている感じにさせてくれるのでとても良かった。

●新潟県は海と川と山という三つがうまくセットされて存在している。それぞれがうまく調和されていて私達の生活を支えてくれている。そういう自然の世界をもう一回みんなで見てもたらどうかという番組からのメッセージを感じた。

●これからの人の生活は都会のコンクリートの中だけではなく、土と水と風と木の香りの中で、もういっぺん自分の人生について考えてみる必要があるという、そういう提案として良い番組だと思った。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

7月……222件。

8月……387件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成23年7月25日)から昨日(平成23年9月25日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第280回審議会では「NNNドキュメント‘11

大地のリレー「被災地」に移住する若者たち」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第 281 回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 7月、8月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 7月、8月の単発番組制作一覧
- ・ 民間放送新聞（7/27, 8/23, 9/3, 13号）
- ・ BPO 報告（No. 100, 101号）

以上